

2017年4月吉日

会 員 各 位

ユニシス研究会

静 岡 支 部

2017年度『静岡支部研究活動』メンバー募集のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素はユニシス研究会活動にご協力、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

ユニシス研究会では、会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題やこれからのITを駆使した新たな働き方、AI活用などをテーマに、会員同士や日本ユニシスグループ社員との情報・意見交換の場、また相互研鑽の場として、各種の研究活動を推進しています。

ビジネスヒント発掘や企業の枠を超えた新しい交流の場、人材育成の場としてユニシス研究会活動をご活用いただきたく、是非とも多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

【 添付資料 】

- 1 . 「静岡支部研究活動」メンバー募集・運営要項
- 2 . ユニシス研究会「静岡支部研究活動」参加申込書
- 3 . 2017年度の研究活動募集テーマ
- 4 . 過去の研究活動テーマ

以上

【 添付資料 1 】

「静岡支部研究活動」メンバー募集・運営要項

1. 参加資格：

ユニシス研究会会員企業（会員企業の方であればどなたでも参加いただけます）

2. 研究テーマ案：

テーマ案・例は別紙記載いたしますが、活動開始後メンバー間で協議のうえ決定いただきます。

3. 参加費：

年間の活動費として研究活動参加費は1会員企業あたり20,000円とします。
その他交通費・旅費等は、参加会員の負担とさせていただきます。

4. グループの構成：

参加メンバー5名以上をもって1グループを構成します。
構成メンバーの中から、「リーダー」「サブリーダー」「書記」を互選する事とします。
活動には、日本ユニシスグループより選出されたテクニカル・アドバイザーが参加し、研究活動を支援します。

5. 年間スケジュール：

開催予定日	開催内容
5月30日（火）	発足式&第一回会合予定（懇親会を予定）
9月1日（金）,2日（土）	サマースクール（途中経過発表）
1月29日（月）	活動報告書提出
2月予定	静岡支部発表会
2月予定	関東支部発表会参加
3月9日（金）	全国発表会

6. 活動期間と会合回数：

活動期間は本年5月から翌年2月末までとします。（発表会を除く）

期間中、原則月1回の会合（半日）を持ちますが、詳細は別途グループ運営の中で決定します。

第1回目の会合は、発足式を兼ね、2017年5月30日（火）を予定しております。

正式にはメンバー確定後、メンバーのスケジュールを調整しご連絡致します。

来年1月下旬に活動成果を「研究活動報告書」として提出していただきます。

研究活動運営委員の皆様により、活動報告書の表現力・構成力はもとより、汎用性、有効性、独創性、独自性などの面を考慮して査読審査をさせていただきます。

7. 活動運営について：

研究活動の企画・運営は参加メンバーの自主運営とします。

会場場所は、参加メンバーの交通利便等を考慮しながら、日本ユニシス(株)静岡支店及び参加メンバーの会社施設等を利用します。

研究成果は、「研究活動発表会」や「全国カンファレンス」等で発表して頂く事があります。

特に優れた成果には、「エッカート賞」やその他入賞制度の受賞候補として推薦されます。

ご報告（発表資料含む）いただいた研究活動成果（研究活動活動報告書、プレゼン資料等）の著作権は著者に帰属いたしますが、著者はユニシス研究会が主幹する「機関誌など刊行物掲載」、「WEB サイトへの掲載」など、ユニシス研究会としての研究活動成果配布に係わる一切の権利（個人名・会社名・所属先の公開を含む）をユニシス研究会に無償で許諾するものとします。

8. 申込方法：

添付資料2の「参加申込書」にご記入の上、5月19日(金)迄にFAXにてお送り下さい。

9. お問い合わせ先：

日本ユニシス（株）ユニシス研究会静岡支部事務局 河原

〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7 三井生命静岡駅前ビル4F

E-mail szk-box@ml.unisys.co.jp

TEL 054-272-4711

FAX 054-252-7945

以上

【添付資料2】

ユニシス研究会静岡支部事務局 行

FAX : 0 5 4 - 2 5 2 - 7 9 4 5

ユニシス研究会「静岡支部研究活動」参加申込書

【個人情報の取り扱いについて】

ご入力いただくお客様の個人情報は、日本ユニシス株式会社、並びに当社のグループ企業、及びユニシス研究会が、1)本セミナーに関する連絡・確認、2)当社および当社のグループ企業等からの製品・サービスに関する情報提供、イベント・セミナー等のご案内及びマーケティングの目的で利用させていただきます。

ご入力いただいたお客様の個人情報については、当社の「個人情報保護基本方針」に従い、厳正に取扱います。なお、個人情報の開示、訂正、削除、情報提供の停止等のお申し出、その他ご質問がございましたら、

下記のお問合せ先までご連絡いただくか、当社ホームページからお申し出ください。また、当社グループ企業への個人情報の提供と、各社の個人情報保護方針については、下記リンク先よりご覧ください。

- 当社グループ企業への個人情報の提供について http://www.unisys.co.jp/privacy/u_group.html#1

- 日本ユニシスグループ企業 各社個人情報保護方針 <http://www.unisys.co.jp/com/group.html>

- ユニシス研究会 個人情報保護方針 <http://www.yuni-ken.gr.jp/privacy.html>

以上の個人情報に関する取扱いにご同意いただけましたら、次の「同意する」にチェックをお願いします。

【個人情報管理者】ユニシス研究会事務局 事務局長 秋田 茂

同意する

【個人情報の問合せ窓口】ユニシス研究会静岡支部事務局

〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町 11-7 三井生命静岡駅前ビル 電子メール: szk-box@ml.unisys.co.jp

TEL054-272-4711

FAX : 054-252-7945

【ご参加者】

複数名参加も可能です（複数名ご参加の場合は本紙をコピーの上ご利用下さい。）

会 員 名			
電話番号	()		
FAX 番号	()		
希望テーマ			
フリガナ 参加者名		所 属 役職名	
メールアドレス			
フリガナ 参加者名		所 属 役職名	
メールアドレス			

2017 年度の研究活動募集テーマ

キーワード	テーマタイトル案	推薦する理由ならびに活動内容（案）
働き方改革	働き方改革への ITの果たす役割	国の人口減少が進む中で、「働き方改革」は早期実現が必要な重要課題である。 これまでもITは仕事の生産性向上に大きく寄与してきたが、技術革新が進むITの面からどのような役割を果たすことができるのかについて提言する。
働き方改革	働き方改革と労働生産性 の向上	アベノミスクの中でも大きなテーマと言われている働き方改革と労働生産性の向上。その実現のためには、人工知能等も含むITの活用も重要となっている。IT業界では、自ら率先して新たな取組を行う企業も増えてきている。どのような働き方改革や生産性向上の策があるのか、その可能性を模索し、提言する。
地方創生	地方におけるICTの 具体的な活用	地方で事業活動を行っている企業における、地方ならではのICT活用の具体策を研究する。キーワードは日本一の高齢化、人口減少、若者流出、限界集落、多世代居住、豊かな自然等が考えられ、事業収益を確保できるプランを考える。
AI	AIで地方創生	政府が掲げる地方創生だが、地方にいる人間にとって何が強みで何が他の地域より優位であるかを把握することは難しい。 AI技術によって導かれる「隠れた地方の強み」、「ビジネスを創出に向けた最適な戦略」を活用する方法について提言する。
AI技術	AI技術を活用した 業務変革	AI技術の発達により、これまで人が行っていた様々な仕事がAIに置き換わる可能性があるといわれている。 既存業務の中でどのような使い方ができるか検討し、ビジネス変革への活用の提言をする。
AI	Deep Learningを 利用したビジネスモデル	AI技術が急激に進歩した中でDeep Learningを利用した考えられる新たなビジネスモデルの創出についての考察。 また、考察をもとにした実現方法の研究、実証実験結果をもとに、新たな課題やその対策についての提言を行う。
IoT	IoT 今後の展開に ついて	製造業や流通業を中心にIoTの利用を目指した取組が始まっているが、今後の活用方法や適用分野について研究する。 また、そこから得られるビジネス上の価値を考える。
ブロックチェーン	ブロックチェーン っていったい何？	ビットコイン等の仮想通貨や、その基盤技術であるブロックチェーンは、極めて斬新な技術であるものの、なかなか理解されにくく、依然多くの誤解が存在している。 また、何がすごいのかよくわからない人も多いため、まずは理解するところから始め、今後の展望について研究していく。
仮想通貨	ネット社会における 仮想通貨の利用	日本においても近年話題となっている仮想通貨。 将来的に銀行が取扱いを開始し始めたら、現在の電子マネー（Suica等）は衰退傾向となり、『仮想通貨』時代が幕開ける。 企業としても国内のみならず、世界と仮想通貨の取引をどのように展開していくのかについて研究する。

【 添付資料4 】

過去の研究活動テーマ

開催年	メンバー企業	テーマ	人数
2016年	ヤマハモーターソリューション(株) 遠鉄システムサービス(株) 和信化学工業(株) SSBソリューション(株)	子育て夫婦総活躍のための、やさしい方法 ～ふたりのギャップを解消します～	5名
2015年 審査委員 特別賞	ヤマハモーターソリューション(株) 遠鉄システムサービス(株) 和信化学工業(株) SSBソリューション(株)	No Sound , No Work ～音が変わる職場 音による業務効率向上～	4名
2014年 優秀賞	島田信用金庫 臼井国際産業(株) SSBソリューション(株) 遠鉄システムサービス(株) マーズコンピュータ(株) ヤマハモーターソリューション(株) 和信化学工業(株)	キープワーキングに向けた セルフマネジメント入門 ～3大休暇制度を活用してあきらめない働き女子～	7名
2013年	和信化学工業(株) しずおか信用金庫 遠鉄システム(株) ヤマハモーターソリューション(株) 島田信用金庫	システム間のデータ集約の進め	5名
2012年	和信化学工業(株) しずおか信用金庫 静岡県労働金庫 SSBソリューション(株)	スマートデバイスで商店街を盛り上げる	4名

静岡グループ研究活動

～2016 年度研究活動を終えてのメッセージ～

Q 業務内容は？

30 歳：S E
33 歳：S E
28 歳：経理
31 歳：金融
40 歳：営業



Q 参加する前はどんな気持ち？

通常業務と家庭と活動の両立ができるのか不安
他社の方との交流がないのでうまくやっていけるか不安
IT 分野で議論についていけるか不安



Q 参加して意識の変化は？

他の方も同じような不安を抱えている事を知り少し安心した
リーダーとして状況を気かけたり、メンバー間の橋渡しの役割ができた
今後こんな風に仕事がしたいとロールモデルを見つけることができた



Q 活動を通じて得たものは？

モノ作りの大変さを再認識したが、楽しさも感じる事ができた
普段の業務とは違う経験で、自分の得意不得意を改めて考えるきっかけになった
プレゼンスキルを磨くには、絶好の機会だった
論理的に物事を進める力と相手に解りやすく説明する為の報告書の作成の仕方
論文の書き方、会議の進め方、議論の仕方、そしてすばらしい仲間！



Q 今後参加される方へメッセージ

10 ヶ月間は想像以上に短いので、メンバーと密に連絡をとり協力し合う事が必要
様々な思いをもって参加すると思うが、積極的に参加すると得るものは大きいと思う
業種は違っても志を同じくする素晴らしい仲間と出会うことができます！
自分なりの目標をもって楽しんで参加してください！

